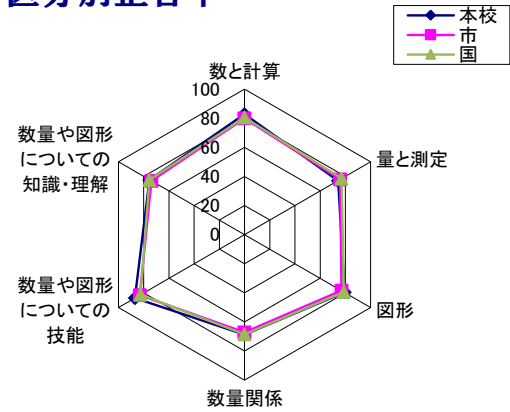


宇都宮市立横川西小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

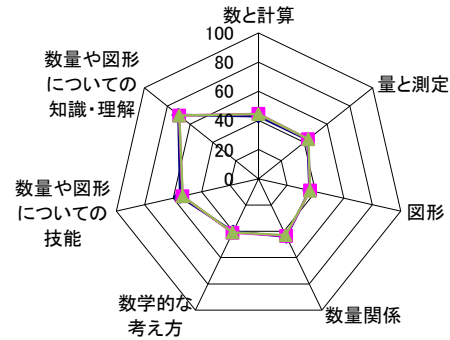
【算数A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	82.8	79.9	80.5
	量と測定	74.2	75.9	77.0
	図形	79.4	76.9	78.8
	数量関係	68.7	67.1	68.5
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能	87.0	83.1	82.5
	数量や図形についての知識・理解	75.4	73.9	75.4



【算数B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	42.9	44.5	44.4
	量と測定	42.9	43.5	43.7
	図形	35.8	36.2	36.3
	数量関係	44.1	43.5	42.9
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	40.2	41.0	40.9
	数量や図形についての技能	55.2	53.5	53.3
	数量や図形についての知識・理解	70.3	69.6	69.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○四則計算については整数、小数、分数のいずれについても具体的な数値が示されると正答率が高い。 ●計算の工夫や答えの見積など、思考力が問われる計算は正答率がやや低い。 ●数式の数値の説明や立式の説明を問う設問では正答率が低く、県の正答率を下回る。	・計算プリントや計算ドリルに繰り返し取り組ませ、計算の技能を確実に身につけるようにする。 ・式の数値が何を示すのか説明できるように、言葉の式を活用する。また、グループの話し合いを意図的に行うことで立式の意味が説明できるようにしていく。 ・計算をする上で、簡単に素早く正確に計算できる方法を考えさせる。
量と測定	○面積の公式に関する数量を問う設問の正答率が高い。 ●「単位量あたりの大きさ」の求め方の正答率が低い。 ●数量の変化の説明や数式の説明を問う設問の正答率が低い。	・公式をきちんと身に付けさせる。 ・文章問題など具体的な場面で、もとにする量、比べられる量を確認する。もとにする量を1と見ることが割る数になることをその都度意識させる。 ・一方の数値の変化が他方の数値の変化とどのように関係しているか、意図的に説明させるようにする。
図形	○平面図形の認識についての設問は正答率が高い。 ●立体図形の面の位置関係の設問は正答率がやや低い。 ●具体操作が難しい図形の設問は正答率が低い。	・平面図形や立体図形の面や辺の位置関係を、具体物を操作することで理解できるようにする。 ・図形の組み合わせや立体の見取り図などを簡単な図に表すことができるように、機会を見つけ意図的に描かせるようにする。
数量関係	○全体の大きさに対する部分の割合の意味を問う設問の正答率が高い。 ○具体的な場面が想像できる数量関係の立式は正答率が高い。 ●グラフから読み取ったことを根拠に、示された事柄の真偽を判断する設問の正答率が低い。	・具体的な数値を別な数値に置き換える経験を意図的にさせることで、単位量との関係を理解できるようにする。 ・資料から読み取れることをグループなどで話し合わせ、数値が示す意味や数量の変化を理解できるようにする。